

**第 7 回**

開催日時	平成26年5月8日(木) 19:00~20:10		
開催場所	茨城町総合福祉センターゆうゆう館 2階 多目的室		
出席者	委員	中村忍, 北山静香, 和家貴之, 小橋康德, 美野田龍敬, 小松崎育, 田家英雄, 田中真琴, 中村敬治, 川越信行, 吉川博久, 山本香織, 中根絵美, 佐久間知美, 吹野久美子, 小林一裕, 會沢勇夫, 井野由美子 (敬称略, 順不同)	
	傍聴者	0名	
	その他	鈴木教育長, 村田教育次長	
	事務局	学校教育課再編担当	
会議次第	<p style="text-align: center;"><b>【議事】</b></p> <p>1 校章について</p> <p>2 校歌について</p> <p>3 その他(次回開催等について)</p>		

**第7回 茨城町立小学校統合準備委員会 会議要旨**

1 開会

2 新委員紹介

人事異動により, 関係小学校代表が次のとおり交代

(退任) 駒場小学校 佐藤加代子 校長 ⇒ (新任) 駒場小学校 吉川博久 校長

3 職員紹介

4 委員長あいさつ

第7回目の統合準備委員会を迎えた。今回, 新たに委員に就任された方も含め, 皆様の英知を結集して素晴らしい学校をつくっていきたいと考えているのでよろしく願います。

## 5 教育長あいさつ

統合準備委員会の開催は7回目を数え、皆様には大変な苦勞をおかけしている。今回の統合は4校の統合であり、2校の統合であった青葉中学校の時よりも大変な作業であると感じている。皆様の力を最大限に発揮していただき、素晴らしい学校ができるよう協議のほどお願いします。

## 6 議事

### 事務局

数名の委員が少し遅れて来るため、議事（1）校章についてと議事（2）校歌についての協議の順番を入れ替える。校章の協議では、投票による選定作業を予定しているため、遅れて来る委員が揃った時点で協議を進めていきたい。

### 議事（2）校歌について

#### 委員長

それでは、議事に入ります。

議事（2）校歌について、事務局からの説明を求めます。

#### 事務局

校歌の作詞・作曲に係る経過を報告する。前回の会議において、校歌の作詞・作曲をシンガーソングライターであるマシコタツロウさんに依頼することが決定した。それを受けて、4月24（木）にマシコタツロウさんのもとを訪ね、校歌の作詞・作曲について依頼したところ、正式に作詞・作曲を引き受けていただけることになった。

交渉の中で、校歌を作詞・作曲していただくうえでの条件等についても話をしてきた。まず、歌詞は3番まで制作していただきたいと依頼した。これについては、3番まで制作をするが、合唱コンクール等の機会には1番しか歌わない場合もあるので、1番の歌詞を重視して制作していきたいとの返答をいただいた。

2つ目に、茨城町の学校と特定できるような地名・学校名・キーワード等を入れていただきたいと依頼した。これは、青葉中学校の校歌を制作した際、統合準備委員の皆様からそのような意見をいただいた経過をふまえて条件として盛り込んだ。

3つ目に、小学生は年齢層が広いので、低学年から高学年まで全ての児童が歌いやすい校歌を制作していただきたいと依頼した。これについては、高校生が歌うような校歌であれば精神論的なフレーズを入れることも考えるが、小学生にはそうしたフレーズの意味が理解されにくいと考えるため、多くの児童が親しめるような校歌を制作したいとの返答をいただいた。

4つ目に、歌詞及び曲の解説書の作成、5つ目に、学校における校歌の練習時間を確保するため、年内での制作を依頼した。

また、校歌を制作していただくにあたり、現地の視察が必要かを確認したところ是非視察したいとの返答であったため、今後、マシコさんの都合に合わせて現地の視察を行う予定である。

#### 委員長

議事（2）校歌について、事務局からの説明が終わりました。校歌については、予算の問題について色々な話が出ていたが、それについては問題ないのか。

事務局

こちらが提示できる予算の範囲内で引き受けていただけることになった。

委員長

今後は、事務局がマシコさんと連絡を取り合って作業を進めることになるのか。

事務局

皆様には、その時々進捗状況を報告しながら今後の作業を進めていければと考えているが、そのような進め方でよろしいか。

—異議なし—

### 議事（１）校章について

委員長

議事（１）校章について、事務局からの説明を求めます。

事務局

校章図案の選定方法については、青葉中学校の校章を選定した時と同様に段階的な投票によって校章図案の点数を絞り込んでいくということが前回の会議で決定している。本日は、投票を実施して校章図案の点数を絞り込みたいと考えている。

前回、応募された144点の校章図案を対象に、委員1人につき10点以内を選んでの第一次投票を行った。その結果、1票以上得票した校章図案は30点であった。

参考までに、青葉中学校の校章の決定までの経過について説明すると、応募された校章図案は180点であった。その180点の校章図案を第三次投票まで実施し、4点まで校章図案を絞り込んだ。そして、その4点の校章図案について、オリジナル性を損なわない範囲でデザイナーにグラフィック補正していただき、補正後の校章図案を見たうえで最終的な1点を投票によって選定した。

その後、選定された校章図案の「中」の文字の字体、葉の形、梅や桜の花びらの形などをアレンジしていただき、いくつかの校章案が制作された。それらの校章案を委員の皆様を確認していただき、その際にいただいた意見を基に最終的な調整を行い、現在の青葉中学校の校章が完成した。

今回の校章図案の選定方法であるが、第一次投票で1票以上得票した30点の校章図案の中からいきなり1点を選ぶのは難しいと思うので、まずは委員1人につき3点程度を選んでの第二次投票を実施し、得票数が上位の数点を対象にして、1人につき1点を選んでの第三次投票を実施してはどうかと考えている。

また、投票結果をふまえながら判断していけば良いと思うが、今日中に1点を選定するのか、それとも、青葉中学校の校章の選定過程と同様に、この場では3点程度まで校章図案を絞り込み、後日、それらの校章図案をデザイナーにグラフィック補正していただき、補正後の校章図案を見て1点を選定するのかを判断していただきたいと考えている。

どちらの方法を選択するにしても、最終的に選定された1点についてはデザイナーにアレンジしていただき、いくつかの校章案を制作していただく予定である。そして、それらの校章案を見ていただき、皆様の協議によって最終的な校章を決定していきたいと考えている。

いずれにしても投票によって校章図案を絞り込むのだが、投票の実施に先立ち、まずは第二次投票や第三次投票を1人何点ずつ選んでの投票とするのかについて協議をお願いしたい。そして、今後の投票の結果をふまえながら、本日中に1点を選ぶのか、それとも、あえて数点を残してグラフィック補正を行い、補正後の校章図案を見て再投票等を実施して1点を選ぶのかについても判断していただきたいと考えている。

委員長

議事（1）校章について、事務局からの説明が終わりました。まずは、1人につき3点程度の校章図案を選んだ投票を実施してはどうかということですね。

事務局

はい。

委員長

無記名投票ですね。

事務局

はい。

第二次投票の方法として、1人につき3点程度を選んだ投票を提案させていただいたが、投票点数はそれでよろしいか。

委員

第二次投票の方法はそれで良いと思うが、本日中に校章図案を何点まで絞り込むのかについても予め協議しておいた方が良いのではないか。

事務局

先程、事務局から説明させていただいたのは、今後の投票を行った結果、上位3～4位の得票差が僅差である場合や、反対に、1位と2位以下の得票差が大差である場合など、その時の得票状況に応じて、本日中に1点を選ぶのか、それとも、何点か残すのかを皆様の協議によって判断していただきたいという提案である。

委員長

まずは、投票してみるということですね。それでは投票に入りましょう。

《第二次投票》

#### ■投票方法

第一次投票において、1票以上得票した30点の校章図案の中から1人3点以内で投票  
(無記名投票)

#### ■投票結果

1位：11票、2位：9票、3位：7票（2点）、4位：3票、5位：2票、  
6位：1票（4点）、7位：0票（20点）

事務局

第二次投票の結果、4点の校章図案に票が集中しているように見受けられるが、今後の対応として、第三次投票を実施して2～3点以内に絞るのか、それとも、この4点をグラフィック補正して、

後日、1点を選定するのかなど、どのような対応をとるのかについて皆様に協議していただきたい。

委員

上位4点の順位は、第一次投票でも第二次投票でも同じであった。仮に、第三次投票を実施しても、1位になるのは同じ校章図案ではないかと思う。したがって、この1位の校章図案で決定しても良いのではないか。

委員

この場で4点の校章図案を残すということは、後日、デザイナーにグラフィック補正をしていただき、次回の会議で補正後の4点の校章図案の中から1点を選び、さらに後日、アレンジされたいくつかの校章案の中から最終的なデザインを選定するということである。つまり、作業があと2回必要だということである。

校章以外の協議スケジュール等を考えると、本日中に校章図案を1点を選び、次回はデザイナーが制作したいいくつかの校章案の中から、最終的なデザインを決定すべきだと思う。

委員

なるべく早く決めた方が良いと思う。

委員

早く決めた方が良いと思うが、グラフィック補正された4点の校章図案を見たいとも思う。

委員

価値観や感じ方は人それぞれ異なるものである。先程の投票の結果を尊重して、1位になった校章図案を基にして校章案を制作し、最終的な選定を行えば良いと思う。

副委員長

皆様の意見の多くは、早く決めた方が良いというものである。しかし、この上位4点の校章図案を対象にして、1人1点を選んでの第三次投票を実施したら、この4点の順位は少し入れ替わるかもしれない。

また、青葉中学校の校章図案を選定した際には、途中まで1位だった校章図案が最後の投票で落選した経過があるので、個人的にはグラフィック補正後の4点のデザインを見たいという思いもある。

委員

第三次投票を実施して4点の中から1点を選び、いくつかの校章案をデザイナーに制作してもらうという方法が1番早いと思うが、青葉中学校の校章選定の経過を聴くと、グラフィック補正した4点の校章図案を見たいうえで1点を選定するという方法も良いのかと思う。

副委員長

先程の意見が、選択の幅を広げてしまうような発言になっていたら申し訳ない。個人的には、上位4点の校章図案を対象にしてもう1度だけ投票し、選んだ1点を基にした校章案を見たいうえで最終決定すれば良いのではないかと考えている。

委員長

それでは、第二次投票で得票数が上位の4点の校章図案の中から、1人1点を選んでの第三次投

票を実施するというところでよろしいか。

－異議なし－

《第三次投票》

■投票方法

第二次投票において、得票数が上位の4点の校章图案の中から1人1点で投票（無記名投票）

■投票結果

1位：10票，2位：5票，3位：3票，4位：0票

委員長

それでは、1位の校章图案を基にして、いくつかの校章案を制作していただきたい。

事務局

グラフィック補正をどなたに依頼するのかわかるが、事務局としては青葉中学校の校章の制作に携わっていただいた道川慎一さんを提案したい。

－異議なし－

議事（3）その他（次回開催等について）

事務局

校章については、道川さんに校章图案をアレンジしていただき、いくつかの校章案ができあがった時点で最終的な校章を決定していきたいと思う。

統合準備委員会の協議事項で、最も大きな問題はやはりスクールバスの問題である。現在、事務局で素案を作成しているところであるが、次回からは集中的にスクールバスの協議をしていきたいと考えている。

青葉中学校のスクールバスとは違い、運行エリアが大幅に拡大することから協議には多くの時間を要すると思う。しかし、大枠を決定した後の細部の調整にも時間を要すると見込まれるため、少しでも早く大枠を決定できればと考えている。

委員の皆様には、地域の方々の様々な意見を統合準備委員会に持ち寄っていただき、それらを基にして運行案を協議できればと考えている。